

※出典:「令和4年におけるサイバー空間をめぐる 脅威の情勢等について」(警察庁) より



















確かに

あるけど… すごそうでは

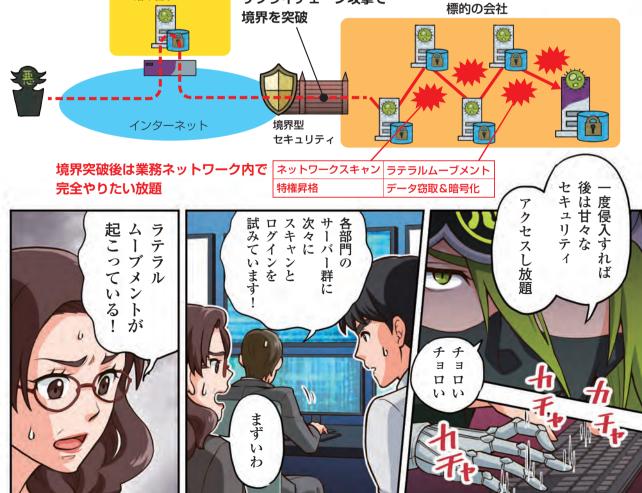


外からの侵入は 切ゆるさない! 築き上げてきたから 時間をかけて









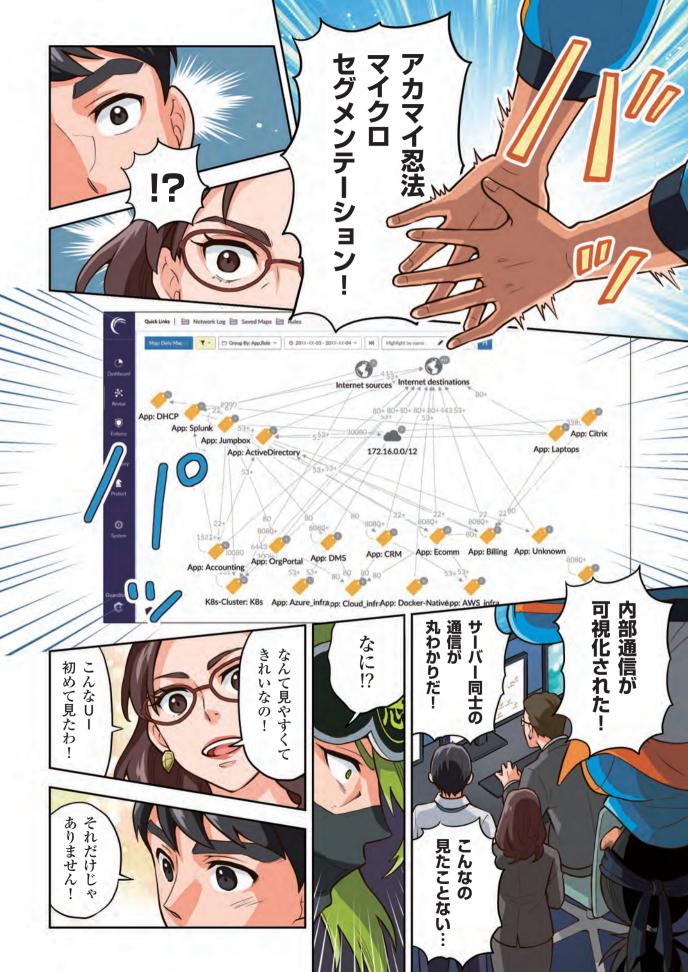
新商品情報 顧客情報 経理資料 長期経営戦略



要求される…!! 多額の身代金を

















マイセグを納 3つのたの法

組織金体のセキュクティのヨコ軸になる

昨今のランサムウェアや標的型攻撃の被害者は言います。

「ヨコ移動する攻撃者にタテ割り運用では対抗できない」

業務ネットワークがサイロ化していると、海外拠点や関連会社などの 思わぬところから侵入した攻撃者が、自社の資産にヨコ移動してきます。

マイセグは、サイロになりがちな昨今のIT基盤を一元的に可視化し管理できま



巻のこ

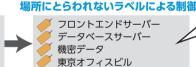
マルチクラウドのネットワーク管理業務を軽減

情報資産はオンプレ、AWS、Azureなど様々な場所で稼働していませんか?システムごとに最適な基盤を選択し、時に はその基盤の間をシステムが移行するハイブリッドクラウド、マルチクラウド環境の通信は複雑になりがちです。場所に とらわれない「ラベル」を設定することで、煩雑なIPアドレスによる通信制御から解放されます。

たくさんのファイアウォールや基盤ごとに異なる通信ポリシー管理にお疲れのネットワーク管理者の皆さん。それマイセグ で解決できます。

従来のアクセス制御

10.1.1.1/32 172.16.1.2/32 192.168.1.0/24 192.168.99.0/24 Port 80 Port 22



ラベルは階層化で効率UP





事前定義ルールで侵入を確実に途断

マイセグが得意とするのは、ルール型の内部通信制御です。"どこからどこへ接続して良い のか"ポリシーを明記するので不要な通信の発生は許しません。EDRやNDRなどの検知型 ソリューションを巧みにすり抜ける攻撃者もルールの前ではなす術なしです。

この内部通信制御は、これまで内部ファイアウォールやルーターのACLが担当してきた領域 でした。しかし、それらは現在のハイブリッド環境には適しません。だからこそ今、マイセグ です。端末の保護が、アンチウイルスからEDRに進化したように、内部ファイアウォールも マイセグに進化する時が来ています。



セキュリティ

業務ネットワーク内部





/ 販売システム 開発システム

機密情報 🕏

仕組み

Akamai Guardicore Segmentation は、エージェントベースのセンサー、ネットワークベースのデータコレクター、クラウドプロバイダーからの仮想プライベートクラウドのフローログ、エージェントレス機能を有効にする統合を組み合わせて、企業のITインフラに関する詳細な情報を収集します。高度に自動化された柔軟なラベル付けプロセスを通じて(オーケストレーションシステムや設定管理データベースなど、既存のデータソースとの統合を含む)、関連するコンテキストを情報に追加します。

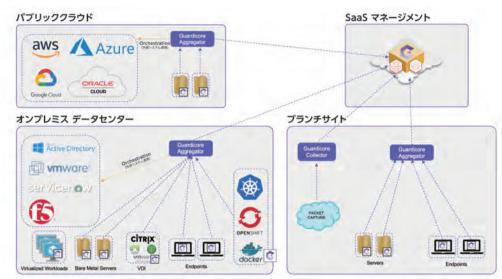
ここがポイント

どこでも展開できるマイ!!

クラウド、オンプレ、コンテナなど 場所を問わずに展開できます。分散 する環境を一元的に管理するのでコ ストもトラブルも大幅削減します。



インフラのトポロジー



ほとんどのお客様はSaaS管理を利用されていますが、オンプレミスの管理オプションもご利用いただけます。



Comments Control total September Allen For the Control total For the Co

ネットワークマップ

IT インフラ全体の動的なマップを出力したものです。セキュリティチームは、これを使用して、ユーザーレベルとプロセスレベルの粒度でアクティビティをリアルタイムまたは履歴で表示できます。これらの詳細な知見と AI ベースのポリシーワークフローを組み合わせることで、セグメンテーションポリシーを実際のワークロードコンテキストに基づいて、迅速かつ直感的に作成できます。

テンプレート

事前に構築されている最も一般的なユースケース用のテンプレートを使用して、ポリシーを簡単に作成できます。ポリシーの適用は基盤となるインフラから完全に分離されるため、複雑なネットワークの変更やダウンタイムの影響を受けることなく、セキュリティポリシーの作成や変更ができます。さらに、ポリシーは、オンプレミスのデータセンターやパブリッククラウド環境といったワークロードの場所に関係なく適用されます。Akamai のセグメンテーション機能は、高度な脅威防御機能とセキュリティ侵害検知機能、およびAkamai Threat Labs が提供する脅威ハンティングサービスによって補完されます。

可視化が凄いマイ!!

AGS の一つの特徴は、内部通信の可視化です。 どこからどこに通信が発生しているかリアル タイムに、もしくは過去の一定期間に巻き戻 して(遡及的に)通信を見える化できます。 アプリ移行を効率化し、インシデント対応工 数を削減できます。

ここがポイント





Akamai Guardicore Segmentation

内部ネットワークの通信制御を容易にし、 ラテラルムーブメント(横移動)を阻止

エンタープライズの IT インフラは、依然としてプラットフォームと アプリケーションの導入モデルが混在しており、従来型のオンプレミスデータセンターからクラウドやハイブリッドクラウドのアーキテクチャに進化している途上にあります。このデジタル変革は、ビジネスのアジリティ向上、インフラコストの削減、テレワークの実現という点で多くの企業の役に立っていますが、境界が明確に定義されず、アタックサーフェスが拡大して複雑になる原因でもあります。 個別のサーバー、仮想マシン、クラウドインスタンス、エンドポイントはそれぞれデータ漏洩のポイントとなる可能性があります。 ランサムウェアやゼロデイ脆弱性などの脅威が広がり、攻撃者が侵入方法を見つけた場合、横方向に移動して価値の高いターゲットを目指しやすくなります。



活用方法は色々!!

ここがポイント

マイクロセグメンテーションと言っても、全部を細かく区切るばかりでは無いのです。コンプライアンス促進やクラウド移行などで事業に貢献します。下の8つが多くのユーザーが利用するマイセグ活用の主な用途です。

8つの主要な活用シナリオ



ランサムウェア の阻止



クラウド移行 のセキュリティ確保



ゼロトラスト の実現



インシデント対応 &脆弱性対応



コンプライアンス の促進



レガシーシステム の保護



重要なアプリケーション の安全を確保



内部ファイア ウォールの後継

ソリューションの主な機能

○ ○ AIを活用したきめ細かな ○ ○ セグメンテーション

AIの推奨事項、ランサムウェアなどの一般的なユースケースを修復するためのテンプレートや、プロセス、ユーザー、ドメイン名などの正確なワークロード属性を使用して、数回クリックするだけでポリシーを実装可能



リアルタイムと履歴での 可視性

アプリケーションの依存関係をユーザーレベルとプロセスレベルまで、リアルタイムまたは履歴ベースでマッピング



幅広いプラットフォームの サポート

ベアメタルサーバー、仮想マシン、コンテナー、 IoT、クラウドインスタンスにわたる最新および従来のオペレーティングシステムに対応



柔軟な方法による資産の ラベル付け

ラベル付けの階層をカスタマイズでき、オーケストレーションツールや設定管理データベース と統合でき、豊富なコンテキストを追加



多様な保護方法

脅威インテリジェンス、防御、セキュリティ 侵害検知の機能と連携して、インシデント 対応時間を短縮



ご要望に応じた内容で弊社営業がお話に伺います

- 製品デモンストレーション
- 新機能・ケーススタディ紹介
- ワークショップ
 - ・ゼロトラストワークショップ
 - ・マイセグワークショップ
- 製品トライアル

お問い合わせ先

アカマイ・テクノロジーズ合同会社 〒104-0028 東京都中央区八重洲2-2-1 東京ミッドタウン八重洲 八重洲セントラルタワー

TEL:03-6897-9452 (営業代表番号)

※繋がらない場合は050-1807-6482へお願いいたします

E-mail:info_jp@akamai.com http://www.akamai.com/ja

